

## 家庭ごみマイナス100gの取組について

### 1 経緯等

平成28年7月に家庭ごみの減量目標値を1人1日当たり470gとし、30年11月、その達成期限を令和3年3月までとして減量化・資源化推進に取り組んできたが、新型コロナウイルスの影響により想定外のごみ量となったことから、2年8月に期限を5年3月まで延長した。

その後、4年10月に依然としてコロナ禍の終息が予測できなかったことから、期限を7年3月まで延長した。

### 2 課題

- (1) ごみ減量に関心の薄い市民への意識啓発
- (2) 生ごみの減量化
- (3) 古紙類の分別対策

### 3 令和5年度の主な取組み

2の課題に対応するため、以下の取組みを実施する。

- (1) みんなで取り組むごみ減量PR事業  
テレビCMやインターネット広告を活用して、生ごみの水切りの徹底や古紙の分別などの広報啓発を行う。  
(テレビCM放映予定：7～8月、インターネット広告予定：7月～3月)  
生ごみ減量ガイドブックの作成・配布（1万6千部）
- (2) 剪定枝資源化事業  
家庭から出る剪定枝の資源化を図るため、戸別収集等を実施する。
- (3) 分別説明会  
就労等の事情により地域で開催する説明会に参加できない市民を対象に、事業所等で開催する。

【内容】・本市のごみ現状

- ・生ごみの水切りや雑がみ（古紙）の分別徹底
- ・ごみや資源物の分け方

### 4 これまでの主な取組

取組		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
3R推進事業	家庭のごみ・資源物の正しい出し方ガイドブックの作成・配布 全戸配布 28.5万世帯	—	—	—	—	—	—	—
	ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の配信（ダウンロード数）	3,826回	6,264回	7,514回	8,874回	12,140回	8,986回	9,303回
資源化推進事業	古紙類の収集	13,673t	13,250t	13,348t	13,599t	13,824t	13,437t	12,909t
	金属類の収集	—	280t	1,740t	2,001t	2,386t	2,218t	2,088t
ホームフードリサイクルグリーン事業	生ごみ処理機器の購入補助	159基	165基	199基	182基	334基	378基	333基
住民説明会 (市政出前トーク含む)	実施回数	275回	747回	192回	150回	87回	83回	100回
	参加者数	5,126人	16,615人	5,528人	4,597人	2,185人	1,986人	2,263人
みんなで取り組むごみ減量PR事業	テレビCM（放送回数）	—	—	—	—	102回	78回	165回
	インターネット広告（表示回数）	—	—	—	—	4,138万回	3,206万回	255万回
	みんなで取り組む家庭ごみ減量ガイドブックの作成・配布	—	—	—	—	—	—	4万部
剪定枝資源化事業 (R2～)	戸別収集	—	—	—	—	494t	482t	433t
	剪定枝粉砕機の購入補助	—	—	—	—	217基	96基	47基

### 5. 市民1人1日あたりの家庭ごみ量の推移

